



厚生労働省委託事業：感染症危機管理リーダーシップ人材育成事業

## 令和8年度IDCL(長期)が始まりました

(寄稿)危機管理・運営局 企画調整部 上級研究員 佐藤 瞳

### 感染症危機管理リーダーシップ研修 (IDCL : Infectious Disease Crisis Leadership Program)

厚生労働省委託事業として、公衆衛生行政、医療提供体制、感染症疫学や臨床等に関する専門的な知見や経験を有する既存の多様な職種  
の感染症専門人材に対し、地域における将来の感染症危機への対応に  
おいてリーダーシップを発揮する人材として、感染症危機管理に必要な  
多様かつ分野横断的な知識やスキルの修得や維持・向上を図るこ  
とを目的とした研修を実施しています。

ホームページでは、研修の最新情報を随時更新しています。  
こちらのQRコードからご覧いただけます。



### 令和8年度IDCL (長期)

	目的・内容	提供方法	研修場所
eラーニング	地域の感染症危機においてリーダーシップを発揮する人材に必要な知識を学び、コンピテンシーの基礎を築く。感染症危機において関連機関が果たす役割を理解する。感染症危機管理に関する基本的な知識、関連機関の講義等をオンライン教材で学習。	オンライン	-
対面研修	eラーニングで学習した内容を実践することで、知識の深い理解・定着を促す。 講義、ディスカッション、フィードバック等で構成されたプログラムを受講。	対面	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
実践研修(OJT)	感染症危機管理に関連する機関の役割や業務を理解し、感染症危機時における分野横断的な調整力を身につける。 研修機関における実習・見学。 ・厚生労働省(検疫所含む) ・内閣府感染症危機管理統括庁 ・国立健康危機管理研究機構 ・所属自治体の県庁、保健所、地方衛生研究所	対面	左記、研修機関のとおり
机上演習	感染症危機時の判断や意思決定のプロセスを実践的に学ぶ。 感染症危機時を想定したシナリオに基づき、判断や意思決定を行う演習を受講。	対面	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
外部講義	感染症危機時の対応事例やリーダーシップの在り方を学ぶ。 外部講師による感染症危機の事例やリーダーシップに関する講義を受講。	対面	国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)
フィードバック会	研修生自身の目標に基づいて内省を深める。 月1回、他の研修生等との意見交換を通じて内省を深め、自身の目標に沿って課題や成長を振り返り、今後の計画を再度検討する。	対面	厚生労働省 または 国立健康危機管理研究機構 (または都内貸し会議室)

#### 研修方法

約1年間、eラーニング、対面研修、研修機関における実践研修(OJT)、フィードバック会、机上演習、外部講義を通して、地域の感染症危機管理においてリーダーシップを発揮できる人材に求められる能力(コンピテンシー)の獲得を目指します。

#### IDCL (長期) パンフレットより

令和8年度は、3名(保健師2名、薬剤師1名)の長期研修生を迎え入れました。

4月1日から21日にかけて、実地疫学専門家養成コース(FETP)の初期導入研修に参加します。



令和8年度IDCL(長期)研修生